



有松まちづくりの会

○ 日本遺産進捗状況（歴まち室）

今年度の要望事業については、文化庁の第1次査定を受け、再検討した上、再度提出しました。第2次査定は、8月中には決まる見込みです。

現在査定事業の一部は次の通りです。

- ・ 日本遺産の構成文化財のPRに携わる人材育成事業
- ・ 日本遺産認定を契機とした有松観光の推進事業
（日本遺産構成文化財の解説パネルやガイドブック作成）
- ・ 有松の佇まいに調和した絞り装飾の制作
- ・ 有松の歴史調査を次世代に繋げるための調査研究
- ・ 未指定文化財等を含めた資料収集及び報告書の作成

事業決定後に、日本遺産実行委員会に事業ごと有松まちづくりの会や関係団体とでワーキンググループが設けられ、事業の推進が行われる予定です。

○ 第3回東海ブロック町並みゼミ「有松大会」の日程について

参加者の方々に、より有松を楽しんでいただこうと、「晩秋の有松を楽しむ会」の開催日に併せて、来年の令和2年11月14日（土）に開催することが決まりました。

○ 令和元年 まちなみ研修日帰り旅行について

「郡上八幡の歴史と文化を訪ねて」として、9月2日（月）に行われます。開催案内を同封しますので、参加をご検討下さい。

日本遺産認定証 絞会館に掲示される

日本遺産認定証が絞会館カウンター後ろの壁に掲げられました。絞会館に行かれたときには、ご覧下さい。

〔紹介〕日本遺産 江戸時代の情緒に触れる絞りの産地

～藍染が風にゆれる町 有松～

どこまでも広がる藍色の空の下、藍に染められた絞り暖簾が風にゆれる古い商家の落ち着いた佇まい。絞りの町「有松」には、江戸時代の浮世絵さながらの景観が今も静かに広がっています。

四百年の歴史を持つ有松の江戸文化は、今も多くの人々を魅了しています。



有松絞り・七夕ストリート（7月5日～7日）

5月に日本遺産の認定を受け、NPO法人コンソーシアム有松が初めて企画しました。

有松東海道の30か所に設置された竹には、有松幼稚園の園児さんや小学生、また観光客の皆さんの願い事が書かれた1000枚ほどの絞りの短冊や絞りオーナメントが彩り鮮やかに飾り付けられていました。軒先で風に揺れる光景はなんとも美しいもので、絞りの町有松らしさを演出していました。

絞りの短冊作りには桜花学園の学生さんが参加、飾り付けには有松あないびとの会が協力しました。

また、併せて有松グルメ七夕企画として七夕ストリート期間限定メニューなども提供されていました。



ナナちゃんと愉しもう！Inナナちゃんストリート（7月6日）

～ 有松絞りと郡上おどり 伝統文化の出逢い ～

有松絞りを身にまとったナナちゃんの前で、NPO法人コンソーシアム有松が「日本遺産の町・有松」のPR活動を、郡上踊り保存会の皆さんとのコラボレーションで行いました。有松絞りの浴衣やタペストリー、郡上踊りの提灯で飾られたステージ上で、コンソーシアム有松の中村理事長と郡上踊り保存会の藤田会長がそれぞれの町を紹介し、伝統工芸品の有松絞りの手拭いと郡上木履の踊り下駄（鼻緒は可愛い絞り柄）の交換がなされました。その後、生演奏で郡上踊りが披露され、保存会の方の指導の下、多くの方が踊りの輪に加わり郡上踊りを楽しまれました。踊りには絞り浴衣の参加者も多く、高らかな下駄の音の響きに伝統文化の繋がりが感じられました。



ステージ風景



絞り浴衣のナナちゃん



生唄と生演奏



郡上踊りの輪



盛り上がる郡上踊り

有松学区避難所開設訓練（7月6日）

近い将来、かなりの確率で南海トラフ巨大地震などの発生が予想されています。そのため、大規模災害が発生し被災した場合に、地域のコミュニティが避難所の開設・運営などを自ら行える態勢づくりが喫緊の課題となっています。

有松学区では、蒸し暑い中7月6日に区政協力委員と連絡協議会のメンバー等113名が参加して、避難所開設に備えての訓練が行われました。



有松小学校体育館での訓練風景

冒頭、有松小学校奥村教頭先生から「災害はいつ来るか分かりません。予想を超えるような災害が日本各地で発生しています。地域の皆さんの手で様々な訓練が大切です」とお話がありました。訓練では、DVDを視聴。大規模災害時には、行政による公助と地域住民たちの自助、共助の意識を持つことが大切だと分かりました。

その後、避難所の安全確認や防災備蓄倉庫の物資チェックなどを行いました。体育館では、仮設トイレと段ボールベット及び間仕切りルームの組み立て実習を3班に分かれ、有松消防団の指導の下で汗を流しながら真剣に取り組んでいました。次に、小学校西側道路路上にある地下式給水栓の操作訓練が行われ、市水道局員による実演と水質の判定基準の説明を聞きました。

訓練終了後は、緑保健所の保健師から感染症やエコノミー症候群予防の指導がありました。最後に、より良い避難所のあり方などについて意見交換を行いました。安心安全な町づくりの一環としての活動は、大変意義のある訓練だったと思います。

岡家住宅 TVで紹介される（7月9日）

メーテレで毎週放映されている名古屋市広報番組「おもてなし隊なごや」で、岡家住宅が紹介されました。名古屋おもてなし武将隊の豊臣秀吉と陣笠隊太助が有松を訪問して下さいました。お迎えをしたのは、有松あないびとの会の加藤明美さん。「岡家住宅は、かつて絞り商を営んでいた方の建物です。主屋は改造が少なく、江戸時代の絞り商の建築形態をそのまま残しています」と、その特徴を簡潔に紹介されていました。



4分ほどの短い番組ですが、これを機に更に多くの観光客の皆さんが有松を見学に訪れて下さることを願っています。

〔岡家住宅の建物公開〕

毎週 土曜・日曜 午前10:30～午後3:30

予約不要 無料

問合せ 歴史まちづくり推進室



献血会行われる（7月7日）

有松・鳴海絞会館駐車場において、9時30分～11時30分の2時間、日本赤十字社による献血会が行われました。

有松学区の保健委員が東海道の所々に立ち、協力者への案内や通行人への呼びかけを行っていました。当日町並みを見学にみえた観光客の方にも声かけをしてました。結果、21人の方が献血を申し出られ16人の方が献血されました。



献血車

シリーズ地域活動1 かえで道の清掃（有松まちづくりの会）

有松小学校と絞会館駐車場の間にある道が「かえで道」です。

秋の紅葉が美しい道です。20数年前、有松土地区画整理事業で広範囲に区画整理が行われたとき、有松小学校の北側に車道が造られました。当初、道路脇のかえでの木も伐採される予定でしたが、有松まちづくりの会の要望でかえでの木は残りました。

以来、有松まちづくりの会が毎月、第4日曜日の7:30から清掃活動を行っています。特に、紅葉時期の落ち葉は大変です。「紅葉の素晴らしさを見たら、疲れも吹っ飛ぶね」とは清掃参加者の声。現在、清掃は3～4名で行っています。気軽に参加して下さい。

また、11月中旬頃のかえでの紅葉時期には是非お越し下さい。



催事・行事の予定

- 8月02日～04日 安城七夕まつりで有松をPR 碧海信用金庫本店前
- 8月04日（日） 09:00 有松東海道青空市 有松商工会周辺 青空市運営委員会
- 8月19日（月） 18:00 有松町並み相談会 コミセン
- 8月25日（日） 07:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- 8月26日（月） 18:00 有松まちづくりの会役員会 コミセン

発行者:竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 会長)

編集者:加藤 一成(有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671

E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

有松まちづくりの会は、ホームページを公開してます。

有松のまち

検索

